

国際交流基金助成事業報告書

薬学部 1 年次生 西田光希

1. 渡航前に考えていた自分の目標

英語のリスニング力をあげることと、カナダの医療制度を学ぶことが目標でした。

2. 目標達成状況について

常に英語に触れないといけない状況に置かれるので自然とリスニング力は上がりました。ですが、継続しないとせっかく身につけていたのにすぐに聞き取れなくなるので継続することが課題だと思いました。

また、このプログラムでは旅行では絶対みることの出来ない医療施設を見学し、とても貴重な経験をすることが出来ました。色んな驚きと新しい発見があったのでとても満足しています。

3. これからの自分

この 6 日間で私は積極的に動くことの大切さに気が付きました。後の文にも書いていますが、分からないことがあればすぐに聞いたり、コミュニケーションを取ろうとすることが何かのきっかけになると思いました。日本でも恥ずかしがらずに自分の意見を持って堂々とする事により自信がつくと思います。このチャレンジ精神を忘れずに向上心を持って、になりたい自分に近づけるよう勉学に励みます。

4. 医療施設見学

私たちは 3 つの医療施設を見学しました。

1 つ目は Vancouver General Hospital (VGH) の薬剤部と脊椎の部門を主に見学しました。薬剤部では調剤の様子を見ることが出来ました。1 階にある薬剤部から患者さんのいる階に薬を届けるためにペットボトル程の大きさのものに薬を入れて届ける機械があり、とても印象に残っています。これがあるおかげでわざわざ薬剤師が届ける手間が省けるそうです。また VGH は脊椎に関する医療に特化しており、脊椎のスペシャリストの医師に治療方法などを聞くことが出来ました。カナダ在住の人だけではなく、スキーなどをして怪我をした旅行者も訪れるそうです。

2 つ目は Richmond Hospital で働く日本人看護師の方に病院内を案内してもらい、看護師や薬剤師の日本とカナダの違いや、働き方等について様々な話をしました。日本の看護師は、患者さんの身の回りの事を全て行わないといけませんが、カナダでは患者さんと医療従事者が対等な関係であるため、看護の業務だけやればいいので楽だとおっしゃっていました。また、カナダでは安楽死が認められているため、安楽死される患者さんに立ちあったことがあるそうです。

3つ目は Shoppers Drug Mart に見学に行きました。このドラッグストアでは日本人薬剤師の方が働いており、調剤の仕方や服薬指導をどのようにしているのかを学ぶことが出来ました。またカナダでは麻薬が禁止されていないので、薬剤師がドラッグ依存の方が訪れた際にモルヒネをジュースに混ぜて提供し、毎日健康状態をチェック、管理するそうです。またカナダでは薬剤師が、医師から薬を出すように言われなくても自分の判断で薬を提供できるので、責任は大きいですがやりがいもあるとおっしゃっていました。

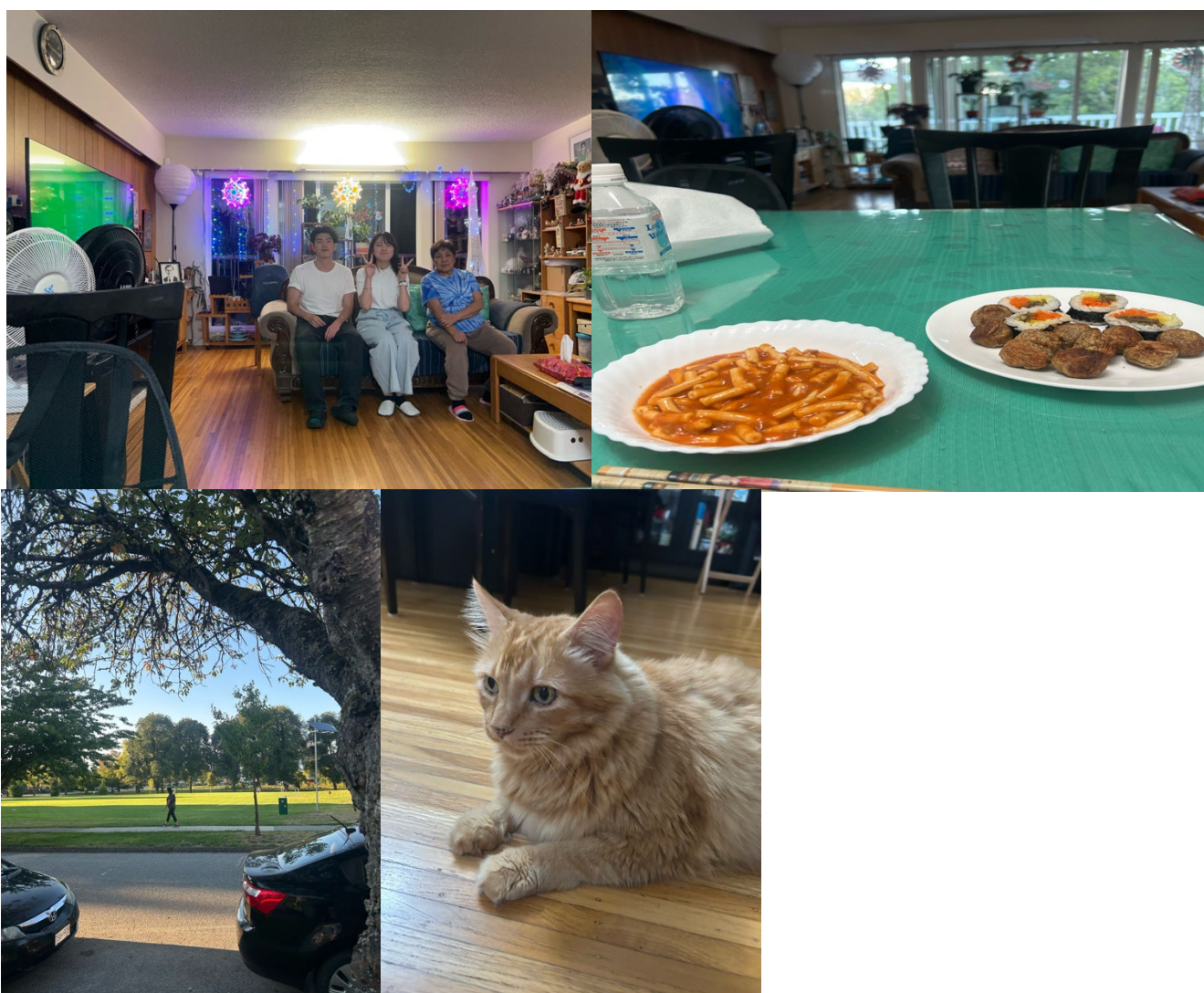


5. 語学学習

3日間 CICC という語学学校に通い医療用語などを学びました。先生方も私が発する拙い英語を理解しようとしてくださり有難かったです。また日頃からの英語の授業も大切にしていきたいなと思いました。単語は特にです。

6. 交流体験/ホームステイ

私のホームステイ先はフィリピン系のお家で、家にはお母さんとお父さん、他の留学生がいました。自分の部屋がきちんと用意されていたので安心して過ごすことができました。ホームステイに関しては浴室などの使い方さえ言われたとおりであれば、トラブルは特におこらないと思います。ただ、ご飯の時間くらいしかホストファミリーとコミュニケーションを取る機会がないので、自分から積極的に話しかけることが大切だと感じました。また分からないことがあればすぐに聞くことも大事だと思います。最初は緊張してあまり話せませんでしたが、家の説明をしてもらっている内に自然とうちとけて話せるようになりました。リスニング力は上がったのですが、スピーキングは文法を考えるかフレーズを覚えとくかしないといけないのでそこが課題



だなと思いました！私は最終日まであまり話す機会がなかったので、これはいけないと思い最終日の帰る直前に感謝の手紙を渡したり、家族構成など色んなことを聞いたり、他の留学生とホストファミリーと一緒に写真をとったりして仲良くなることが出来ました！！いつでも帰ってきていいと言われたので、またカナダに行った際には立ち寄りたいなと思いました！

7. 渡航先について

8月中旬に行ってきたのですが、気候は秋くらいの気温で湿気が少なくとても過ごしやすかったです。日が当たっているところと当たっていないところで温度がかなり違うので訪れる際はパーカーなどを持っていくことをおすすめします！食べ物はとても美味しく、お腹を壊したりはしませんでした。生活環境については、治安が悪い場所にさえ行かなければ大丈夫だと思います。私は初めの集合場所に行く時に違うバスに乗ってしまったのですが、隣の席に座った方に集合場所の最寄り駅を見せたら途中まで連れて行ってくれましたし、帰りも間違えることを恐れて、中国から来た留学生らしき人に声をかけると合ってますよと優しく答えてくれて、留学を楽しんで！と言ってくれました。みんなとても優しくて安心できました。飛行機のフライトが遅れたり、色んなトラブルがありましたが1人ではないので、トラブルすらも楽しめました。まだ仲良くなれていない人達と1週間も過ごせるのだろうかと不安に思っていたのですが、そんな不安も吹き飛ばすくらいとっても楽しい思い出が出来たので行くか迷っている方がいたら、行くことを強くおすすめします！！とても有意義な夏休みになりました。

